

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「幹部看護職を対象とした認知心理学的知見に基づく教育力育成プログラムの有用性と課題」に関する研究実施のお知らせについて

福岡看護大学では、看護教育に寄与できることを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長 水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2025年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

独立行政法人国立病院機構本部九州グループ主催で、2019年7月17日に開催された「令和元年度院内教育担当者研修」に参加された看護職の方と10月29日に開催された「労務管理研修」を受講された看護職の方が対象です。

2. 研究の目的や意義について

新人看護職員の早期離職や職場不適應という問題に対して、各施設で研修などの教育を実施しているものの、教育担当者の育成体制の整備が整っていないことが指摘されており、現状は研修担当者の様々な試行錯誤により研修の運営がなされていると言われています。そこで、本研究では、新人看護職を学習者として捉え、学習者の自立に向けた取り組みとして、自己調整学修能力の育成の観点から、研究者が認知心理学的知見に基づく教育力育成プログラムを開発しました。「令和元年度院内教育担当者研修」「労務管理研修」において、このプログラムを実施しましたので、その有用性と今後の課題について、明らかにしたいと考えています。

この教育プログラムの有用性が示されれば、実地指導者と新人看護職とのギャップを埋める知見が得られるのではないかと考えています。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、2019年7月17日の研修の事後課題として、また2019年10月29日の事前課題として課された「自施設の取り組みについて」のレポートを取得します。このレポートを分析し、認知心理学的知見に基づく教育力育成プログラムの有用性と課題を明らかにします。

〔取得する情報〕

レポート内容：①既存の計画、②企画の変更点（変更項目・その他の項目）③変更理由、④期待される効果、⑤課題または疑問の5項目になります。

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡看護大学基礎・基礎看護部門基礎看護学分野において同分野教授の青木久恵の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡看護大学 基礎・基礎看護部門 基礎看護学分野
研究責任者	福岡看護大学 基礎・基礎看護部門 基礎看護学分野 教授 青木 久恵

共同研究施設	施設名 / 研究責任者の職名 氏名
	独立行政法人国立病院機構 理事 石橋 富貴子 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター /教育担当師長 三重 美香

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	岡看護大学 基礎・基礎看護部門 基礎看護学分野 教授 青木 久恵 連絡先：〔TEL〕092-801-0485（内線3770） 〔FAX〕092-801-0412 メールアドレス：aoki@fdcn.ac.jp
---------------	--

（作成日：2023年1月5日 最終修正日：1月15日）